

柳原地区住民自治協議会だより

平成26年9月15日発行 発行責任者 住民自治協議会 会長 朝日 高志 第21号

まちづくり委員会



毎月2回の会議では、委員の皆さんから、毎回活発な意見や案が出されています。メインテーマは、「wakuやなぎくん」キーワードは「あんぜん・まけない」・「はつらつ・げんき・ささえる」・「まなぶ・はぐくむ・きれいな」・「つながる・あつまる」です。

具体的な新規事業を考えています。親しみやすく、わくわくする計画づくりに、委員一同全力を注いでいます。

まちづくりの中で出された“ワンワンパトロール隊”はもうすぐ活動を始めようとしています。

第64回社会を明るくする運動地区住民集会 7/26

長野県更生保護女性連盟会長 鶴田さん
長野地域更生保護女性会会長 宮下さんのお2人を講師にむかへ更生保護女性会の活動について聞きました。

- ・不幸にして、犯罪や非行を行った人への支援や施設での、女性の立場・母親の立場から各種サポート活動やその他社会貢献活動への協力
- ・社会を明るくする運動などを大いに活用し、何といても「転ばぬ先の杖」の犯罪・非行予防活動が重要
- ・子育て支援

貴重な経験を踏まえた講演であった。柳原地区においても「地域から、犯罪を起こさせない・起こさない安全で安心な住み良いまちづくり」を目指しましょう。



ジャーマンアイリスを植えました 5/23

市民センターの南側の花壇にジャーマンアイリスの球根を100球ほど植えました。ボランティアの宮下さんたちが重機を使って花壇の整備をし、長野市社会事業協会の「ふたば園」のみなさんが植え付け作業をしました。



宮下さんには、昨年の人権を考える住民の集い「障がいのある人も、ない人も誰もが共に暮らしやすいまちづくりのために」に参加いただき、この取組みにつながりました。どんな花が咲くかな？来年の6月が楽しみです。花後に株分けして1株500円でみなさんに販売する計画です。売上金は、「ふたば園」の就労支援になります。



ありがとうございました

- 献血
暑期中、46名の方が献血に訪れてくださいました。ご協力ありがとうございました。次回は、11月21日(金)の予定です。
- 花の種苗交換会
めずらしい種や苗を持ってくださった方もあり、和気あいあいと交換会が行われました。ありがとうございました。次回は、10月を予定しております。



車いす貸し出し

貸し出し条件

- ・柳原にお住まい、またはお勤めの方ならどなたでも無料でご利用できます
- ・使用期間は2週間です(特別な場合は4週間までとします)
- ・返却の際は、汚れをきれいに落としてからお返しください
- ・返却時、修理が必要な場合は、自己の責任において行ってください

救命救急講習会 7/9



今年度初めて子育て広場にて、人工呼吸・心臓マッサージ・AEDなど訓練人形を使い教えてもらいました。小さいお子さんと一緒にたくさんのおかあさん達が真剣に取り組んでいました。

子育て広場とは、就園前のお子さんを対象に開かれている広場です。どなたでも参加できます。仲間づくりや、情報交換などお気軽にお越しください。

- 毎月第2・4水曜日 10:00～11:00
- 予約は不要
- 場所 柳原公民館 大学習室

自転車免許交付 7/8



「交差点での事故が多くありますので、交通ルールを守り安全に自転車に乗ってください」と警察の方からお話があり、みんな真剣に聞いていました。

柳原小学校3年生のみなさんに警察署と交通安全協会から自転車免許証が送られました。

少年少女球技大会 8/24

今年も夏休み明けの日曜早朝、地区内の子どもたちが集まりました。男子は、6チームが校庭でキックベースボール、蹴って走って。女子は、5チームが体育館でドッジボールを楽しみました。

◆キックベースボール(男子)
優勝:中俣A
2位:布野・柳原団地
3位:村山

◆ドッジボール(女子)
優勝:小島
2位:布野
3位:布野・柳原団地

◆回覧を減らしています

住民自治協議会では回覧を減らし、イベントなどは毎月「いきいき わがまち やなぎはら」でお知らせします。

スーパークリップライト 2ヶ500円



夜間の外出時に自分の位置を知らせる交通事故防止に役立ちます
自治協事務局で販売しています

パンジーの種をまきました 8/27

市民センターの周りの花壇を花いっぱいにするということで、支所・公民館・住民自治合同で行い、ボランティアの方も参加して和気あいあいと始まりしました。



とても細かい作業でしたが楽しく行う事が出来ました。

◆自治協だよりに広告を出してみませんか!

自宅にある保険証券、整理しませんか？
約束します！決して保険は勧めません！！
株式会社 フィナンシャルパートナーズ ジャパン
長野市若里 電話(026)262-1231

編集後記 ふと窓の外を見たら林檎が紅くなっていた。秋なんだ。忙しいは、「心を亡くす」と、楽しむ心を忘れないように…。

柳原地区住民自治協議会

長野市小島 804-5 柳原総合市民センター内 TEL・FAX217-2365

いきいき わがまち やなぎはら

検索

E-mail : yanagihara-jiti2365@drive.ocn.ne.jp

お気軽にお立ち寄りください。



活き生き柳原みんなでトーク 8/25



地域の身近な課題について市長が市民と意見を交わし、市民の声を市政に反映させ、市民自らもまちづくりを考え、市民と市が一体となって、協働の市政推進を目的に、120名が参加して開催された。当地区として共通性の高い(経年課題も含む)3つの議題を、市側へ提起した。それに対し、市の担当部局より回答がなされた。

今すぐ解決できる回答は少なかったが、当地区の悲願である千曲川完成堤防化に向けた進捗状況の説明では、少しではあるが前向きであった。また、同報無線による災害情報伝達が問題あるなか、いくつかの伝達・共有方法が紹介され、災害時における選択肢が広がったのではないかと。

この会議で提起された問題を、参加者はじめ地区住民が市と協働して解決に向けて取り組んでいければと願っている。

議題

- ・市営住宅柳原団地の具体的な整備方針、借用している児童センターの屋外広場の使用ができなくなった場合の具体的対応、市道202号線の西側への延伸計画の進捗に伴う柳原小学校南側の一体的開発について
- ・住民自治協議会における災害情報の共有システムやノウハウの紹介、災害時における地区災害対策本部での内部情報伝達の方策、地区災害対策本部と長野市の情報共有の仕方や伝達方法について
- ・千曲川堤防の完成堤防化の今後の進捗とともに、長沼地区に連動しての柳原地区における桜づつみ事業の実現性と詳しい事業内容、村山橋下流における区民が憩える親水護岸工事の今後の動向、長野市都市構想の中での柳原地区の位置付けについて

*** 写真に見る柳原の今昔 ***



柳原小学校移転工事

明治42年現在の児童館のあるところに新校舎を移転建築するため、水田5反歩余りを借地、工費1万6千円余りをもって工事を始める。本校舎2階建て、講堂兼体操場などを建設。写真、左端一人おいて、横谷峰弥設計者・清水歌五郎大工棟梁と学校建築の役員。
・明治42年の工費1万6千円の価値
・現在では約3,200万円ほどになるのでは？
・水田5反歩とは？(1反歩約300坪) 約1,500坪



柳原小学校移転・改築のための新始式*
明治42年3月5日、中俣東組にあった校舎が狭く、広い中俣西園へ移転・改築する新始式。

かんぬき門が学校か？
建築には、村長と各地区3名の学校建築委員がかかわった。明治の末ともなれば羽織・はかまのなかに洋服の人も見える。

*新始式(ておのはじめしき)とは、大工さんの仕事はじめ



クロスロードゲームで訓練



浄水器の扱い方を学ぶ



プールの水を飲んでみたよ

柳原地区総合防災訓練

全国各地でさまざまな災害の報道がされる中、柳原地区総合防災訓練が多くの区民参加のもと実施されました。各地区一時避難場所に避難した区民に無線機、携帯電話等で人員確認や一次避難場所への避難誘導・情報伝達訓練を行い、一次避難場所となっている柳原小学校では防災備蓄倉庫の見学、長野市危機管理防災課の職員を中心に防災指導員、安全防災部員、消防柳原分団員が協力して、浄水器を操作しプールの水の試飲体験を行った。消防分団員はじめ役員は機械操作も初めてであり、それぞれ真剣なまなざしで作業に取り組んでいた姿が印象的でした。

その後、一次避難場所へ避難した約250名が体育館で各5名ずつのグループになり、机上災害時対応訓練(クロスロードYES/NOゲーム)を行い、実際の災害時での対応等、様々な難問にみなさん真剣に取り組んでいました。

日赤奉仕団の方々には炊き出し訓練、大変ご苦労さまでした。

今回の総合防災訓練でも幾つかの課題や反省点も見つかりましたが、自然災害はいつ起こるか全く予測はつきません。毎年行われているこの総合防災訓練が真に役立ち、生かせることを区民全体の意識のなかに持ち続けていきたいものです。

8/31



同報無線にて周知



体育館に到着する避難者



日赤奉仕団による炊き出し



本部

視察に学ぶ自助・共助・公助 (区長会研修)

本年度の視察研修は「震災及び自然災害対策を先進地に学ぶ」ことを目的とした。

東海地震に対応する「静岡県地震防災センター」と、南海トラフ地震を視野にした「名古屋市港防災センター」は、2分程で50メートルクラスの津波到達が予想される地区にあり、それに呼応した防災として自助と共助の大切さと自主防災組織の役割の重要性を模擬体験と解説で学習ができた。

中部電力浜岡原子力は、現在日本に54基ある原発のひとつで、原発の安全性に万全策を講じていることを実物模型と映像を使って強調、訪れた日の現地新聞は総額3千億円を投じて全長1.6キロに及ぶ浜岡防潮堰の高さを22メートル化、建設の9割が完成して再稼働への安全対策を進めていることを報じていた。

長良川が伊勢湾に流れ込む三重県桑名市の「長良川河口堰」は、全長661メートル・堰高8.2メートルの主に治水を目的とした超大型堰で、昭和51年の台風による堤防決壊で大洪水の被害を受けたことから、海からの塩水遡上防止と川の浸濫を可能にして洪水を安全に流下させている。

以上の貴重な研修から学んだ「水に対する安全対策」や「防災に対する組織強化」を、柳原の今後の防災に生かしたい。

8/15

おめでとう新成人

柳原地区 男性46名、女性38名の新成人を対象に東部文化ホール・柳原公民館にて平成26年度成人式が行われました。小雨が降ったりやんだりの生憎の天候の中、晴れやかに着飾った新成人が集い、会場内は明るい雰囲気になりました。式典では、新成人代表から今の思い、誓いの言葉が述べられ、地区より記念品が渡されました。



式典後の祝賀会では、久しぶりに顔を合わせる友人や、駆けつけてくださった小学校の先生と思い出話やお互いの近況報告に、大いに盛り上がっていました。祝賀会が終わった後は、それぞれ20歳の自覚と希望を胸に、会場を後にしたと思います。おめでとう、新成人のみなさん。



史跡めぐり

5/24



柳原地区恒例の行事である「史跡めぐり」が、晴天に恵まれ開催されました。

今年の訪問先は佐久・小諸方面で歴史に関心を持つ41名の地区住民の皆さまが参加されました。

最初の「龍岡城五稜郭跡」では函館とともに日本に2つしかない洋式築城の貴重な史跡を、地元ボランティアガイドの説明を受けながら参加者全員が熱心に見学していました。

次に訪れた「びんころ地蔵尊」は平成15年に建立された比較的新しい地蔵尊ですが、高齢者人口の増加や地域づくりの話題と相まって、今や人気は急上昇、全国各地から大勢の参拝客が訪れる場所になっています。参加された皆さまは、お地蔵様の頭を交互に撫でながら、健康長寿をお祈りしていました。

今年は、酒蔵とワイナリーにも立ち寄り、「辛党」にとっては堪らないおまけ付でした。千曲錦酒造では大吟醸や搾りたて生原酒、マンズワイン小諸ワイナリーでは信州産ぶどうで造った高級ワインを試飲することもできました。

参加された皆さまは、日頃の忙しさから離れ、多くの思い出とともに充実した一日を過ごすことができました。



龍岡城五稜郭跡



びんころ地蔵尊

交通安全はみんなの願い

8/17

早朝から小雨の中、カーブミラーの点検・清掃をしました。交通安全推進委員会26名と交通安全協会柳原支部26名が参加。カーブミラーは、全部で215本、289枚。見えないところでみんなのために働いている役員さん方に感謝です。

球技大会

6/29



◆ソフトボール
優勝：中俣
2位：小島



◆ゲートボール
優勝：中俣
2位：混成チーム

●ソフトバレーボール

男女混合9人の競技です。夫婦で参加されている方もいて、お子さんも応援しています。家族全員で楽しんでおり、決勝戦は大いに盛り上がりました。



●ソフトボール

試合開始時間が迫っている中、選手が足りないチームがありました。何とか各チームで都合して試合に間に合いました。ソフトボールですがダブルプレーも何度も達成しました。

◆ソフトバレーボール
優勝：中俣
2位：小島

●ゲートボール

暑い中、緊張感が伝わるゲームが行われました。応援がちょっと少ない気がしましたが、手に汗握る試合になりました。

長野市清掃センター見学

6/25



プラスチック製容器包装に混入している不適物を取り除くコンベヤ、手選別による仕分けが行われていました。

梅雨のさなか、柳原地区参加者総勢17名にて長野市清掃センターの見学に行ってきました。

当日は小学生の見学などもあり、大変お忙しい中にも関わらず、職員の方々からスライド上映や各施設見学にて説明いただき、長野市環境行政の一端を垣間見ることができ、有意義な時間を過ごすことができました。



リサイクルの第一歩は「分別」から
リサイクルの第一歩は「分別」からリサイクル、分別の大切さ、大変さがわかりました。

ふくし相談

毎月第3火曜日、午前10時～12時に開催しています。相談員は地域包括支援センター、介護保険事業所などの福祉専門の方々です。今年度は、各区のお茶のみサロンにおじゃまして、介護保険について詳しく説明したり、ふくし相談のPRをして回っています。お気軽にご利用ください。まずはお電話を。☎217-2365

介護者のつどい

今年度は、8月と2月の年2回開催します。作業療法士の中西さんの指導で、足の筋肉をほぐしたり、痛みをとるストレッチを行いました。交流会では、日頃の介護についての疑問や悩みを話し合いました。前回親しくなれた方が参加されていないのを残念がっていた方もいました。

認知症サポーター養成講座

7/24

松代オレンジキャラバンのみなさんの寸劇と紙芝居による、認知症サポーター養成講座が開催されました。認知症の方への接し方など、とてもわかりやすい寸劇で、参加者の方々も認知症への理解が深まったのではないのでしょうか。

認知症になっても安心して暮らせる、家族も安心して暮らせる、サポーターであふれるまちをめざして、サポーター養成講座を今後も開催していきます。

